

令和8年度の取組について

(日本遺産関連事業を含む)

令和8年3月5日(木)

1. 令和8年度取組概要

令和8年度は、日本遺産の認定継続と地域活性化に向けて、「シビックプライドの醸成」・「構成文化財間の回遊の向上」・「外国人観光客の受入態勢整備強化」の3つの重点事業を行うほか、従来事業も拡充して実施し、本市の日本遺産の更なる魅力向上を図る。

シビックプライドの醸成

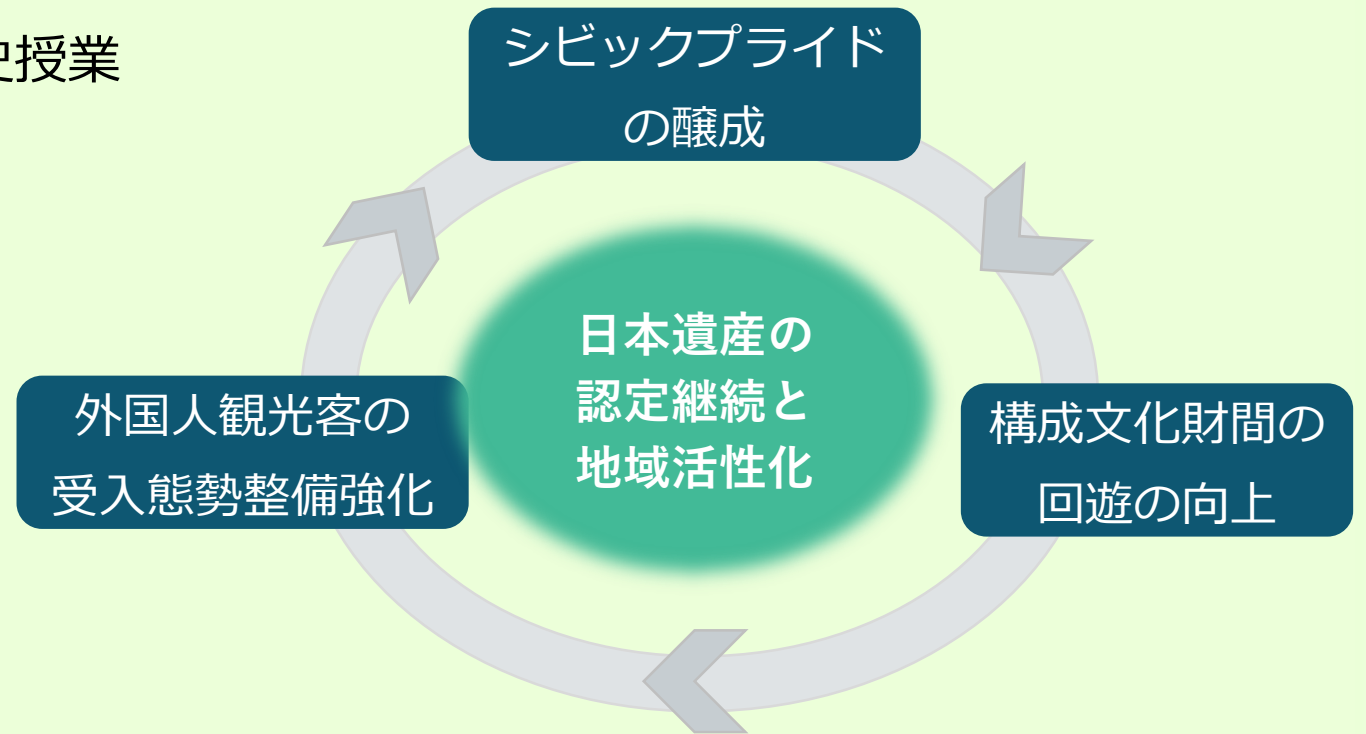
- ▶ 日本遺産を活用した行田（郷土）の歴史授業の実施
【全小中学校】

構成文化財間の回遊の向上

- ▶ 「たびなび行田」アプリの拡充
- ▶ 電動キックボードを利用した回遊提案

外国人観光客の受入態勢整備強化

- ▶ 文化財案内板等の多言語化整備



シビックプライドの醸成

日本遺産を通じた行田（郷土）の歴史授業の実施

【全小中学校】

足袋づくりの起点となる「綿の栽培」からはじめ、足袋ができるまでの流れと日本遺産へと続くストーリーを地域の歴史とともに学び、郷土への誇りを育む。

【今後の日本遺産を活用した小中学校における郷土学習等の取組計画】

令和9年度 小中学校授業のカリキュラムとして実施

令和10年度 日本遺産子供ガイド育成

令和11年度 英語教育を活かした外国人版日本遺産子供ガイド育成



構成文化財間の回遊の向上

「たびなび行田」アプリ拡充事業

地図アプリと連携して市内の観光地を案内する「たびなび行田」の日本遺産コンテンツや機能の拡充を実施し、市内観光スポットの回遊性を高める。

電動キックボードの取組を利用した回遊提案

徒歩や車では難しい「ちょうど良い」移動の手段として、電動キックボードで地域ガイドとともに街中を巡るツアーを実施し、構成文化財間の回遊性を高める。

外国人観光客の受入態勢整備強化

文化財案内板等の多言語化整備

令和7年度に引き続き、日本遺産案内・説明板や、構成文化財動画解説の多言語化を行うとともに、足袋蔵からの足袋の出し入れ等の様子を体感できるAR（拡張現実）を制作し、外国人を始めとする観光客の案内拡充を行うとともに魅力ある体験型観光を提案する。

情報発信事業

- ▶ 日本遺産ガイドスセンターの運営
- ▶ 日本遺産フェスティバル
- ▶ 日本遺産の日イベント
- ▶ ツーリズムEXPOジャパン2026
- ▶ CoCoJapan

普及啓発系事業

- ▶ 足袋蔵めぐりスタンプラリー
- ▶ 花手水タウン特別企画
- ▶ 足袋蔵めぐりガイドツアー
- ▶ 行田足袋でめぐるガイドツアー
- ▶ 日本遺産クイズラリー
- ▶ 足袋コレクション2026
 - ・洋装に併せて足袋を履くスタイルを提案
- ▶ 古墳フェスティバル
- ▶ 行田足袋着用推進事業

シビックプライドの醸成事業

- ▶ 日本遺産巡回展示
- ▶ **拡充** 日本遺産を活用した行田（郷土）の歴史授業

公開活用のための整備事業

- ▶ 旧忍町信用組合店舗（ヴェールカフェ）の運営
- ▶ ヴェールカフェを活用したビアガーデン
- ▶ 多言語化ほか文化財案内板の整備

その他事業

- ▶ **拡充** 歴史的建造物の活用
 - ・行田窯での飲食店開業見込み
- ▶ ふるさと納税を活用した日本遺産周知
 - ・忍城忍者体験・ヴェールカフェでのランチなど体験型返礼品を提供
- ▶ 歴史まちづくり計画の策定の検討